



2015年2月28日

RID2660 財団補助金管理セミナー

財団の新しい資金モデル

RID2660 地区財団委員会
宮里 唯子（茨木西RC）

財団の長期戦略

財団の目標は、これまででも、そして今後もプロジェクトに補助金を提供し続けることであり、不況に備えるための運営準備金を含め、堅固な財務基盤を維持することである

新資金モデルの目的

① 財団運営のための十分な資金確保

② 運営準備金

➡ 2015年：6,700万米ドル

➡ 収益の不調がプログラムや奉仕に
影響を与えない

現在の資金モデル

年次基金の投資収益

恒久基金の投資収益

運営費

(寄付推進と管理運営)

新しい資金モデル (2015年7月～)

年次基金の投資収益

恒久基金の投資収益

年次基金の寄付5%

企業寄付の10%

GG補助金の現金拠出5%

運営費

(寄付推進と管理運営)

寄付推進費と一般管理運営費

寄付推進費

- * メジャードナー行事
- * 認証
- * 計画寄付や大口寄付の相談
- * 寄付者との関係構築や寄付選択のサポート

一般管理運営費

- * コーポレート・ガバナンス
- * 現金を扱う際の手続き
- * 運営に必要な不可欠な諸々のコスト

新しい資金モデル

年次基金寄付の5%

➔ 必要がない限り、運営費に充当しない

- ・ 投資収益とGG補助金寄付の5%が運営費に十分な場合
- ・ 運営準備金が3年分の運営費（約6,700万ドル）
に達している場合

➔ DDFに影響はない（WFから差し引かれる）

新しい資金モデル (2015年7月～)

企業寄付の10%

- ➡ 企業との交渉を通じて、ケースバイケース
- ➡ 大口寄付（500,000ドル以上）のみ
- ➡ ポリオ・プラス基金と恒久基金寄付、および
冠名指定寄付には適用せず

新しい資金モデル (2015年7月～)

グローバル補助金の現金寄付の5%

- ➡ 現金寄付の5% (事務手続き費用) を追加で支払う
(オンライン・システムの変更)
- ➡ 通過寄付のため、収益を生まない
- ➡ プロジェクト専用口座に直接送金の場合は不要
(税制上の優遇措置や認証ポイントの対象にはならない)

新資金モデルの仕組み

Step1 : 投資収益が運営費をまかなうのに十分か

Step2 : 運営準備金が3年分の運営費に達しているか

Step3 : 直前3年間の寄付の50% + 500万ドル相当の
WF残高があるか → 余剰金は恒久基金へ



ご静聴、有難うございました